

品質・環境報告書 2019



中京化成工業株式会社

活動レポート(品質・環境) - 2019 -

中京化成工業(株)は、1999年11月26日にISO9001の認証取得に続き、2004年6月18日にISO14001の認証を取得しました。

継続運用している中で2015年版改訂にも早期に対応し、2016年にISO9001を2017年にISO14001の移行を完了しております。

以前より、品質目標と環境目標を可能な限り統合して設定・運用するように努めていましたが、更に今年度は品質と環境のマネジメントシステムの確実な運用を目指して統合審査へステップアップを推進しました。

品質・環境方針 / 品質・環境目標

品質・環境方針

当社は、品質・環境マネジメントシステムの最上位の「基本方針」に当社の取り組む決意と姿勢を表明すると同時に、より具体的に、かつISO9001、ISO14001規格に適合した「品質・環境方針」をまとめて制定しております。

「品質・環境方針」 2016年6月制定

品質基本方針

- ① 我社の製品は常に優秀である。
- ② 我社は製品の品質で勝負する。

環境基本方針

- ① 我社は自然と共生することに最大の関心を払う。
- ② 我社は環境配慮型製品の開発を進める。

品質・環境方針

1. 当社の各事業活動、製品及びサービスを踏まえた品質・環境マネジメントシステムを構築します。また、蓄積された潤滑理論をベースに自動車関連、グリース関連、工業用機械関連、金属加工関連、離型・剥離剤関連、洗浄剤関連などの分野で顧客と地域社会に貢献します。
2. 変化する諸条件及び情報を反映した品質・環境目標を事業年度毎に設定し、運用し、定期的に見直すことにより、品質・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善に努めます。
3. 環境法規、条例、規制や当社が合意したその他の要求事項を順守します。
4. 顧客満足の上昇、環境負荷の低減と汚染の予防及び環境保護に努めます。
5. 全従業員に教育訓練と啓蒙活動を実施すると共に、ビジネスパートナーに対しても理解を求め協力して運用します。

2016. 6. 1

中京化成工業株式会社

代表取締役社長

廣野 拓

2019年度 品質・環境目標

「品質・環境方針」をベースに、当社の活動・製品・サービスから特定された「著しい環境側面」、法的及びその他の要求事項、当社を取り巻く内外の課題、更に利害関係者のニーズと期待より、「リスクおよび機会」を特定しております。さらにこれを考慮して各年度に「全社目標」、「品質・環境目標」を決めて対応し、その施策の実現に取り組んでおります。

全社目標（品質）

- ①顧客重視
- ②品質（Q、C、D）管理の向上
- ③供給者との互惠関係の強化
- ④予防処置

全社目標（環境）

- ①環境配慮型製品の開発と販売促進
- ②資源・エネルギー・廃棄物の削減
- ③法規制及び組織が同意するその他の要求事項の順守
- ④予防処置

部 門	品質・環境目標		
	内 容	目 標 値	
営業 1 部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 (SN級エンジンオイル)	年間売上 7,500万円	
営業 2 部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 (油煙対策油・汚れ対策油・臭気対策油・再生油・ CLフリー油・鉛フリー油・ボンデフリー油・他)	年間売上 9,000万円	
営業 3 部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売 (水溶性離型剤(ラッシュコート)・水溶性エアゾール)	年間売上 3,000万円	
業務購買部	外注先要因によるクレーム防止	0件	
	出荷準備完了時間の前倒し	15:00	
	指定伝票のマニュアル作成(総務部合同)	48件(4件/月)	
製造部	不良品流出【製造部起因】	0件/年	
	時間外作業の削減	前年比 90%	
技術研究所	研究開発 1 課	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	900万円
	研究開発 2 課	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	900万円
	研究開発 3 課	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	900万円
	合計	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	2,700万円
品質保証部	業務効率の改善 改善の提案	年間目標 5 件	
	電気使用量の削減	2018 年度実績以下	
総務部	顧客重視(業務購買部合同) 指定伝票のマニュアル作成	48件(4件/月)	

2019年度 品質・環境目標&実績

各関係部門において「品質・環境目標」を設定し、その達成に向けて取り組みました。仔細は次頁の通り。

部 門		環境目的	目標	実績	評価	
1. 増 業績の向上	営業1部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 7,500 万円	6,578 万円	m()m	
	営業2部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 8,000 万円	7,417 万円	()	
	営業3部	顧客の要望している環境配慮型製品の販売	年間 3,000 万円	3,640 万円	\(^o^)/	
	技術 研究 所	研究開発1課	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 900 万円	1,170 万円	\(^o^)/
		研究開発2課	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 900 万円	2,335 万円	\(^o^)/
		研究開発3課	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 900 万円	2,332 万円	\(^o^)/
		合計	顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	年間 2,700 万円	5,837 万円	\(^o^)/
	品質保証部	業務効率の改善 改善の提案	年間目標 5 件	5 件	()	
業務購買部・総務部	顧客重視 (業務購買部合同) 指定伝票のマニュアル作成	48 件 (4 件/月)	9 4 件	\(^o^)/		
2. 減 不具合の削減	業務購買部	外注先要因によるクレーム防止	0 件	5 件	m()m	
		出荷準備完了時間の前倒し	15:00	25. 1%	m()m	
	製造部	不良品流出【製造部起因】	0 件/年	5 件	m()m	
		時間外作業の削減	前年比 90%	83. 8%	()	
	品質保証部	電気使用量の削減	2018 年度実績以下	8. 8%増	()	

評価の凡例

\(^o^)/ : 目標値を10%以上達成しました!
 () : ほぼ目標値
 m()m : 目標値の90%以下に終わりました

各部のコメント

テーマ	部門	達成率（目標対比）	コメント
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業1部	87.6%	本年度は目標未達となりました。価格競争、新規顧客への展開ができずこのような結果となりました。次年度は新規顧客への展開キャンペーンで増販を目指します。
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業2部	82.3%	本年度はハードルの高い案件（鉛・塩素フリー等）が多くチャレンジの年でもありましたが不調に終わり、加えて自動車業界の低迷も相まって環境配慮型製品の販売が鈍化しました。また、案件の数を増やすことや進捗させる方法にも問題があったと思われます。
顧客の要望している環境配慮型製品の販売	営業3部	121.3%	本年度は他社品切り替え案件が好調で、年当初から順調に推移して目標を達成することができました。次年度も引き続き環境配慮型製品の拡販に取り組みます。
顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	研究開発1課	130.0%	始動時から実績計上スピードが鈍く苦しみました。後半になると採用される案件も増えたことで年間目標としては達成することができました。次年度は2課と統合されることで、開発が難しくなかなか進まない案件についても知識を集結することで解決を図り更なる実績向上に繋げます。
顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	研究開発2課	261.3%	本年度はほぼ毎月新規製品が計上されたため目標を大きく達成できました。次年度は1課と統合されるため、共に技術を出し合い新たなる開発に努めたいと思います。
顧客要望を取り入れた環境配慮型製品の開発	研究開発3課	259.1%	本年度は3年目の所員の開発能力の向上により目標達成することができました。次年度も新規採用まであと少しの案件が多くありますので更に開発を進めます。
業務効率の改善 改善の提案	品質保証部	100.0%	日頃の業務で不明な事や不便なことはどんどんテーマアップして改善することで、負担の軽減やミス防止になります。このため毎日ミーティングをしたのは効果的でした。今後も毎日のミーティングは継続し、提案もどんどん対応していく予定です。
指定伝票のマニュアル作成	業務購買部	195.8%	今年度マニュアルを作成したことにより、担当者不在時や新しい部員でもスムーズに伝票を作成することが可能となりました。更に、他の業務内容でも同様の方法を進め、分かりやすい仕組みづくりを進めて参ります。
指定伝票のマニュアル作成	総務部	195.8%	当初は目標達成が困難と考えておりましたが、中旬から形が出来上がり無事達成できました。今回で効率化が進んだと考え、次年度以降継続して実施されていることを確認していきます。

各部のコメント

テーマ	部門	達成率(目標対比)	コメント
外注先要因によるクレームの防止	業務購買部	5件	目標0件のところ5件も発生させてしまいました。特に、外注仕様書の重要性和エアゾール製品のクレーム対策の難しさを実感いたしました。クレーム事例の水平展開を行い再発防止に努めて参ります。
出荷準備完了時間の前倒し	業務購買部	25.1%	大きな目標を掲げスタートしましたが、10月まで低調な結果となりました。11月以降は改善ができており次年度に繋げることができました。次年度は改善できたことを基に、本来の目的であるトラックの積み込み完了時間の前倒しを行います。
不良品流出【製造部起因】	製造部	5件	流出していない案件も含めると各工場で不良の発生となりました。ヒューマンエラー対策が十分に行えなかったことが原因と考えております。次年度はラベル関連を中心としたヒューマンエラー対策と個々のスキル向上の双方が重要と考え対応して参ります。
時間外作業の削減	製造部	83.8%	QCサークルを利用して時間外作業の削減をテーマに活動しましたが、実績として出ませんでした。しかしながら、部内のコミュニケーションをとることができましたので今後に期待できると考えております。
電気使用量の削減	品質保証部	92.8%	今年度は工事による電気使用量の増加が目立ちましたが、工事終了後は微増となっています。この微増は加温庫の新設に伴うものであると想定しています。

中京化成工業株式会社 環境への各種取り組み



オイル工場の新設

外観



2F



1F



屋内タンク
貯蔵所



加温庫



緊急事態への対応

- ・漏洩テスト
- ・非常呼集、消火訓練(防災教育)



構内掲示

パレットへの積載方法(ペール缶)

<p>正しい積み方 各の積合せが揃えられている ※ 高実時の積合せが望ましい</p>	<p>間違いの積み方 各の積合せが揃えられていない ※ 高実時の積合せに気づけず(NG)</p>
<p>正しい積み方 各の積合せが揃ってラベル裏面がある</p>	<p>間違いの積み方 各の積合せが揃ってラベル裏面がない</p>

ラベル貼付正誤表

<p>正しい貼付方 各の積合せが揃ってラベル裏面がある</p>	<p>間違いの貼付方 各の積合せが揃ってラベル裏面がない</p>
-------------------------------------	--------------------------------------

※ 正しい貼付方法は、写真と写真②を参照してください。



中京化成工業株式会社

CKK CHUKYO KASEI KOGYO CO., LTD.

ISO9001:2015 (JQA-QM3984)

ISO14001:2015 (JQA-EM4081)

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町西吹戸 10-1

TEL: (0566)36-3690 (代表)

FAX: (0566)36-6156

URL: <http://www.c-k-k.co.jp>

10-1, Nishifukido, Imaoka-cho

Kariya-City, Aichi-Pref., JAPAN

TEL: 0566-36-3690 (General Line)

FAX: 0566-36-6156